適切な森林整備の実施による土砂災害等の防止

5か年加速化対策
災害時の効果発揮事例
国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

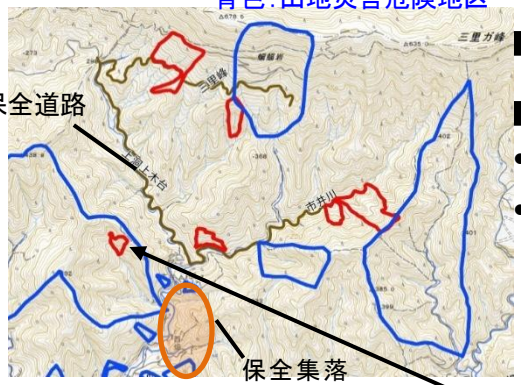
概　　要：和歌山県みなべ町内の山地災害危険地区周辺の森林において、森林整備事業を実施。対策実施箇所では、令和8年6月24日からの大雨に際しても森林の山地災害防止機能等により、土砂流出等の被害は発生しなかった。
対 策 名：4 山地災害危険地区等における森林整備対策＜5か年加速化対策＞【林野庁】

■ 実施主体：JiroBayForestry株式会社

■ 実施場所：和歌山県日高郡みなべ町



赤色：森林整備箇所
青色：山地災害危険地区



■ 事業概要：約16haの森林整備を実施
森林の山地災害防止機能等を確保するため、約16haの森林において間伐を実施することで、林内に十分な光が届くよう改善し、残存木の成長及び下層植生の繁茂を促した。

■ 事業費：約550万円（R7年度）（うち5か年加速化対策：約550万円）

■ 災害の外力、被害と効果
- 令和8年6月24日からの大雨で、みなべ町では24時間降水量135mmを観測。
- みなべ町内においても土砂流出などの被害が発生したが、適切な森林整備を実施した本対策箇所では、山地災害防止機能等により、住宅や道路への土砂流出や倒木等の被害は発生しなかった。

間伐により光が林内に差し込むことで、樹木や下層植生の成長を促し、山地災害等に強い森林へ誘導

みなべ町内の被害



整備前



整備後

